

幾春別川 ふるさとの川づくり 懇談会 News【創刊号】

平成 15 年 6 月 26 日、第 1 回 幾春別川ふるさとの川づくり懇談会を開催しました。



▲第 1 回 幾春別川 ふるさとの川づくり 懇談会の様子

第 1 回「幾春別川ふるさとの川づくり」懇談会を、以下のとおり開催しました。

・ 日時：平成 15 年 6 月 26 日（木）
10:00～12:00

・ 場所：岩見沢コミュニティプラザ
多目的ホールA

当日は委員 14 名（代理出席 3 名含む）が出席しました。第 1 回目という事で、岩見沢河川事務所長からの挨拶のあと、「幾春別川ふるさとの川づくり」懇談会の設立趣旨などについて説明し、規約や運営方法・スケジュールなどについて、意見交換の後承諾いただきました。また、座長として岩見沢河川事務所長の伊藤丹所長が選出されました。

その後、事務局から「幾春別川の現況」についての説明を行い、各委員に幾春別川に対する思いを発表していただきました。

幾春別川 ふるさとの川づくり 懇談会とは

『幾春別川 ふるさとの川づくり 懇談会』（以下「懇談会」という）は、北海道開発局石狩川開発建設部岩見沢河川事務所が、今後の幾春別川のあるべき姿や、川づくりのあり方について、地域の代表者等と意見交換を行う場として設置しました。

懇談会の委員は、幾春別川をフィールドとして活動している住民団体等の地域の代表、流域内自治体の代表、岩見沢河川事務所をはじめとした河川管理者等で構成される 15 名です（右表参照）。

平成 15 年度には 4 回の開催を予定し、来年度以降も継続して開催する予定です。

また、第 2 回目の懇談会は、委員を対象とした現地見学を開催する予定です。第 3 回目以降は、一般の方も傍聴でき、議論の内容はニューズレターや石狩川開発建設部のホームページ等を活用して、広く公表していくことが決まりました。

氏 名	所	属
赤間 由美	岩見沢市立メープル小学校	校長
嵯峨 義輝	幾春別川をよくする市民の会	会長
高篠 和憲	三笠市森林組合	会長
奈良 健二	空知管内商工会連合会	会長
深田 倫男	岩見沢市教育委員会	教育部長
宝沢 康晴	FM はまなす JAPAN 放送局	次長
眞野 弘	北海土地改良区	理事長
峯 泰教	岩見沢青年会議所	道央ブロック塾長
黒田 憲治	三笠市	建設管理課長
菅原 重徳	北村	建設課長
吉田 攻司	岩見沢市	建設管理課長
増田 浩泰	札幌土木現業所	岩見沢出張所長
伊藤 丹	岩見沢河川事務所	所長
新目 竜一	幾春別川ダム建設事業所	所長
高長根 正光	桂沢ダム	管理所長

（五十音順）

第1回 幾春別川 ふるさとの川づくり 懇談会 の主な発言から

第1回懇談会の主な発言をご紹介します。

主に地域連携や水質、環境教育、親水、自然環境などについて活発な意見交換が行われました。

また、これらの意見の他にも森林の保全や維持管理についてもいくつかの意見が出されました。

次回以降は幾春別川だけでなく、上流の森林を含めた範囲での活発な意見交換が行われると期待しています。

■地域連携・活性化について

- ・ 広域連携という観点から川づくりを考える必要がある。
- ・ 幾春別川は、地域の連携が進んだ地域であるが、今後はより連携を深めたい。
- ・ 地域の人々がまちづくりなどに川を生かしていけたらいい。
- ・ 石狩川合流点から上流まで連続した水と親しめる遊び場ができれば、魅力のある地域、まちとなり経済効果があると思う。

■水質について

- ・ 生活雑排水等による水質悪化が懸念される。
- ・ 幾春別川は炭坑の衰退等により年々きれいになってきていると感じる。
- ・ 今後も積極的に水質を良くするような活動を行って行きたい。
- ・ 上流の土砂流出が水質汚濁に影響しているのではないかと感じる。

■環境教育について

- ・ 河川を通して水の大切さ、水と親しむということを教えていけたらいい。
- ・ カヌーなどで既に河川を利用している人だけでなく、子供たちにも川下りを体験させ川の様々な部分を見てもらいたい。
- ・ 川には楽しい所もあるが、危険な所もあるこ

とを教えていく必要がある。

- ・ 水を守るために森を守るといった自然環境を考えていけるような仕組みが大切である。

■親水・水とのふれあいについて

- ・ 子供を連れて安心して行ける釣り場がなく、幾春別川は身近に感じられないように思う。親水性を高め、川を身近に感じられるようにして欲しい。
- ・ 最近では川に近づくと教育されたためか、子供達を川で見ることは少なく、さびしく感じるし、問題でもある。
- ・ 水辺の楽校のような水と触れ合える場の整備がもっと必要である。

■自然環境について

- ・ 見た目には昔に比べ川はきれいになったが、生物が生息できる環境が重要である。
- ・ 環境というものを下流から考えるべきか上流から考えるべきかといったことにも目を向けていきたい。

事務局からのお知らせ

第3回の「懇談会」は公開で行い、どなたでも傍聴できます。開催日が決まりましたら、以下の場所に開催案内を提示するとともに、報道機関にもお知らせします。

- ・ 三笠市、岩見沢市、北村、石狩川開発建設部、岩見沢河川事務所の掲示板
- ・ 石狩川開発建設部のホームページ

是非、ご来場ください。

ご意見やお問い合わせは、下記事務局
石狩川開発建設部 岩見沢河川事務所
〒068-0007 岩見沢市7条9丁目
TEL 0126(23)9555
FAX 0126(25)1697
まで、お気軽にお寄せください。